



平野 広行 議員
政新会

問 名古屋競馬場の弥富市移転は

答 地元説明会を開催し同意を得る



▲新競馬場予定地付近

問 令和4年、名古屋競馬場の弥富市への移転について以下を問う。

問 本市への移転決定の経緯は。

答 (市民生活部長) 平成28年、知事から移転候補地と打診。組合議会において同年3月調査費の予算案が可決し、29年3月に決定。

問 移転につき、市・地元への同意は。

答 本年度中に同意を得る。

問 地元との要望等の協議内容は。

答 交通アクセスの向上、駐車場外の迷惑駐車、治安関係で交番の新設についてなど。

問 今後の協議の進め方は。

答 競馬組合が、地元の同意書を得て、本市と協議を行う。

問 移転整備事業はPFI[※]事業で行われるが事業者及び事業方式は。

答 事業者は、金シヤチ名古屋競馬場PFI(株)。

事業方式は、事業者が組合に施設の所有権を移し、維持管理・付帯事業を行う方式。

問 名古屋競馬場を本市の観光拠点とする考えは。

答 具体的なものは決まっていない。

※民間に施設整備と公共サービスの提供を委ねる手法。

問 愛知県競馬組合への加入は

答 慎重に判断していく

本市で競馬が開催されることになるが、地元自治体として競馬組合への加入について以下を問う。

問 競馬場が所在する自治体における競馬組合加入状況は。

答 (市民生活部長) 一部事務組合で運営している競馬場はすべて加入している。

問 競馬組合加入のメリットとデメリットは。

答 メリットは、利益金が配分される。市長が経営に関与できる。地元意見を反映できる。

デメリットは、構成団体加入金が必要。赤字で解散した場合、一部を負担する必要がある。

問 競馬場になることによる市税収入の見込みは。

答 一部事務組合のため非課税。

問 組合加入の手続きは。

答 組合構成団体及び本市で規約制定議案の上程・可決が必要。その後、総務省から規約変更の許可があった後、加入可能。

問 出資金について起債は可能か。

答 (総務部長) 可能。

問 愛知県競馬組合への加入及び競馬場への関わりについて市長の考えは。

答 (市長) リスクもあり慎重に判断すべき事案。まずは令和4年4月オープンにむけて、魅力ある競馬場づくりに関わっていきたい。